

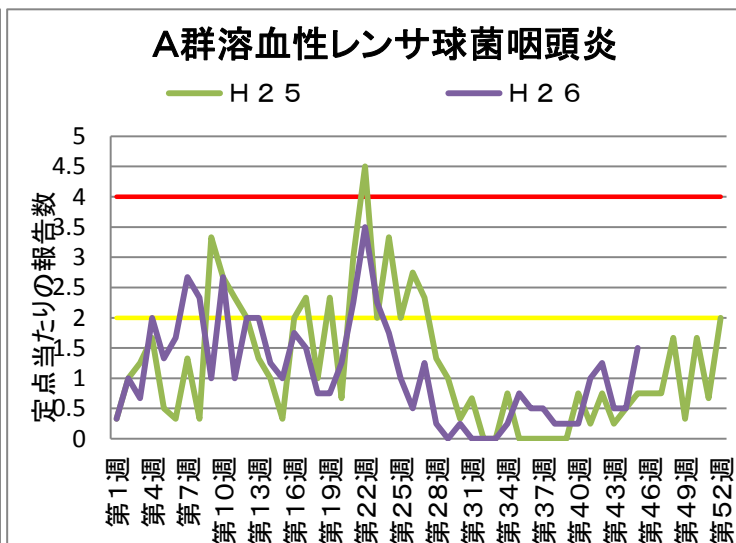
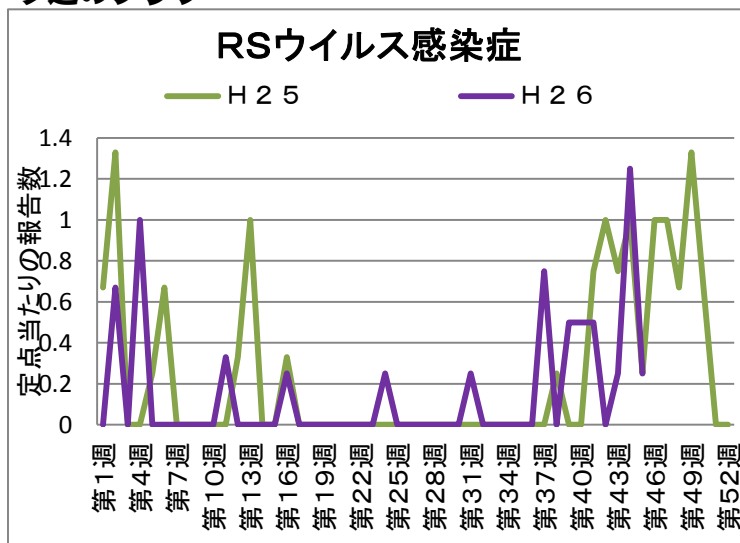
乙訓保健所管内の感染症発生動向調査による週報 (小児科定点、インフルエンザ定点)

第 45 週 平成26年11月3日 ~ 平成26年11月9日

今週のコメント

全国的にもRSウイルス感染症が流行しているのので、手洗い・うがいをこころがけましょう。
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告も増加傾向です。例年初夏と秋～冬期に報告が多くなっています。接触感染・飛沫感染なので手洗い・うがいで予防しましょう。1～3日の潜伏期間の後、咽頭痛・発熱にて発症し、後れて発疹が出現します。改善後に急性糸球体腎炎等を発症することがあるため、指示された期間の抗生剤の内服が必要です。

今週のグラフ



* 赤線 流行警報基準値です 黄線 警報継続基準値です

今週の報告状況

疾病名	定点当りの報告数	疾病名	定点当りの報告数
インフルエンザ	0.14	手足口病	2.5
RSウイルス感染症	0.25	伝染性紅斑	0.5
咽頭結膜熱	1	突発性発しん	0.5
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.5	百日咳	-
感染性胃腸炎	6	ヘルパンギーナ	-
水痘	0.25	流行性耳下腺炎	0.25

定点当りの報告数 = 一週間の報告件数総数 / 定点数

* 乙訓管内 インフルエンザ定点数：7箇所、小児科定点数（インフルエンザ以外の疾病）：4箇所

参考資料等

報告週対応表

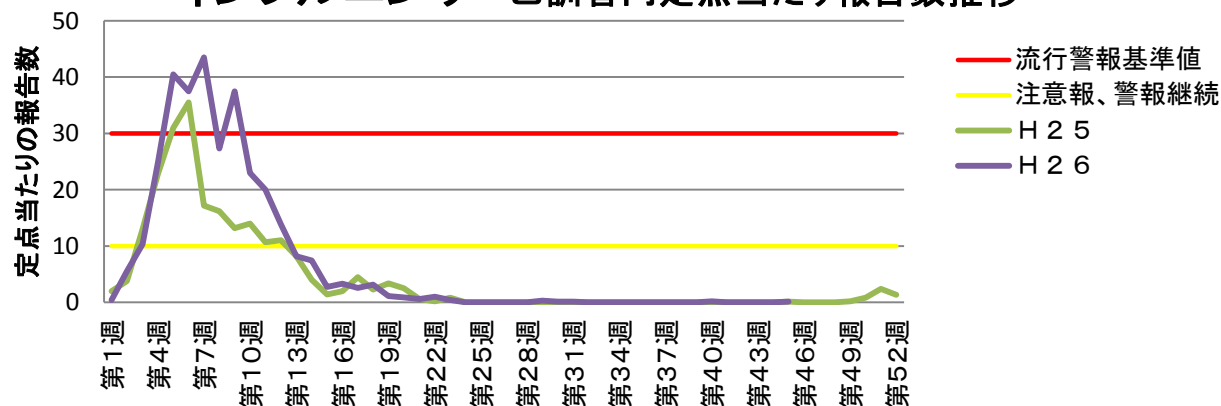
警報・注意報基準値の説明

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/calendar.html>

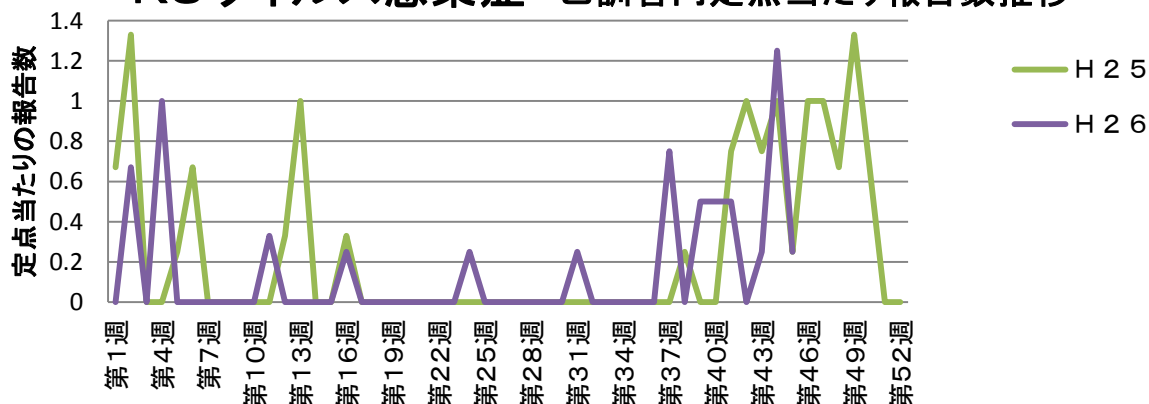
<http://idsc.nih.go.jp/disease/influenza/inf-keiho/guide05.html>

定点報告による各疾病の推移

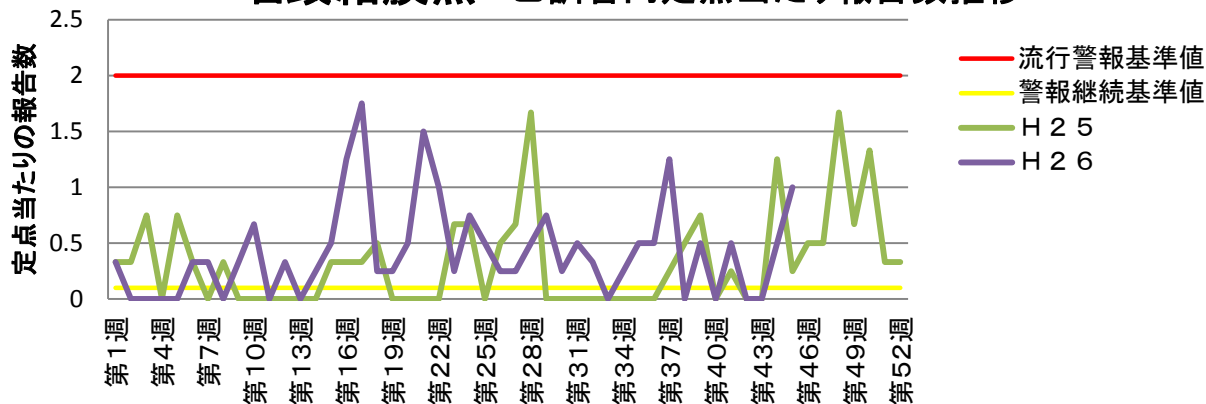
インフルエンザ 乙訓管内定点当たり報告数推移



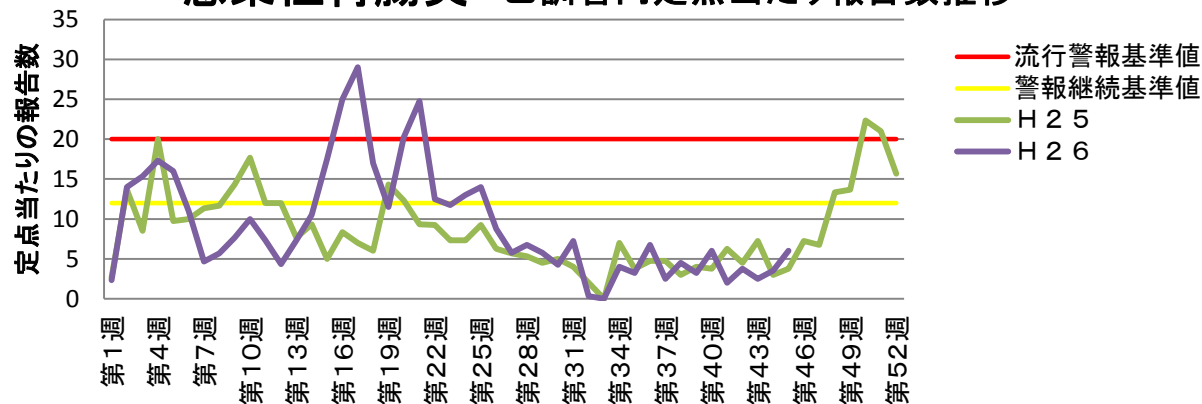
RSウイルス感染症 乙訓管内定点当たり報告数推移



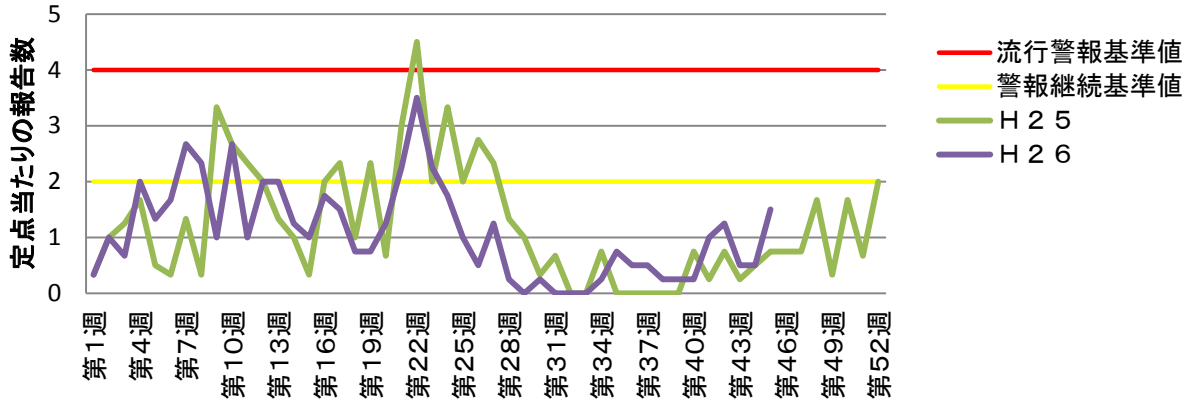
咽頭結膜熱 乙訓管内定点当たり報告数推移



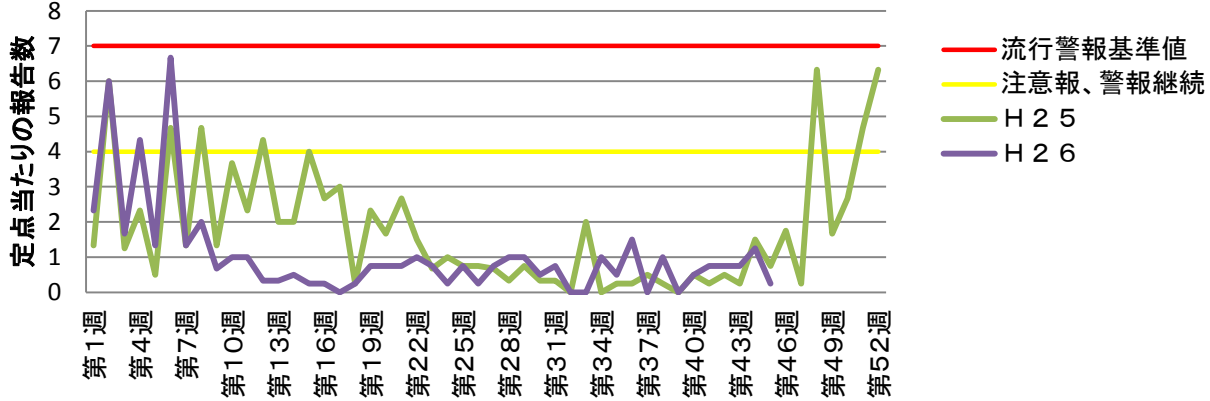
感染性胃腸炎 乙訓管内定点当たり報告数推移



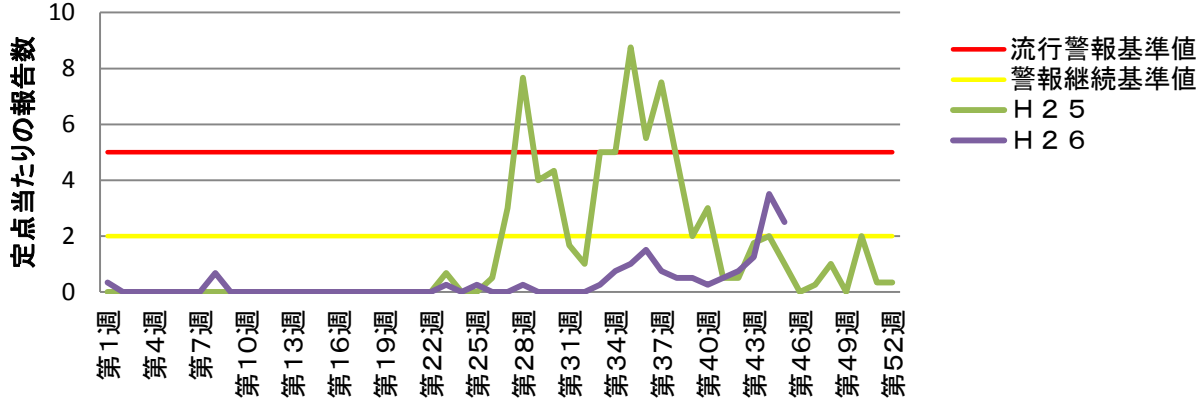
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 乙訓管内定点当たり報告数推移



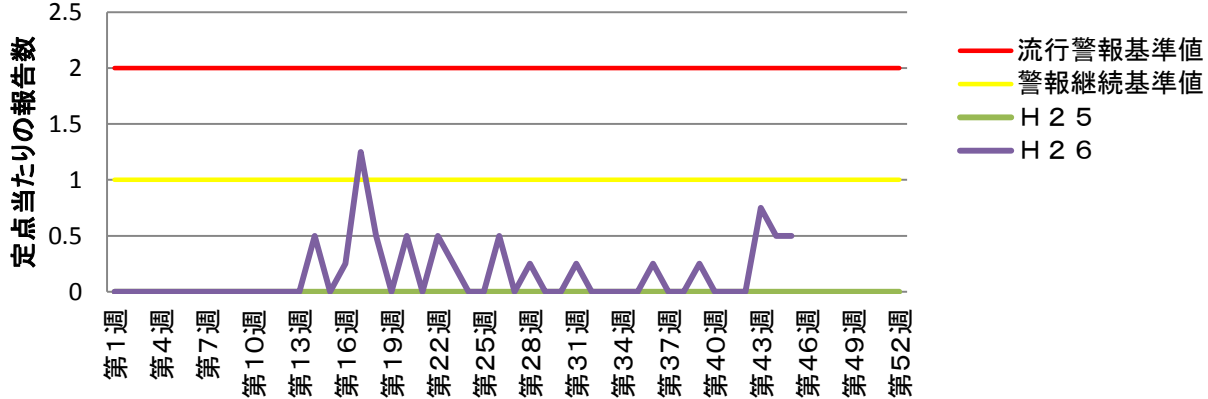
水痘 乙訓管内定点当たり報告数推移



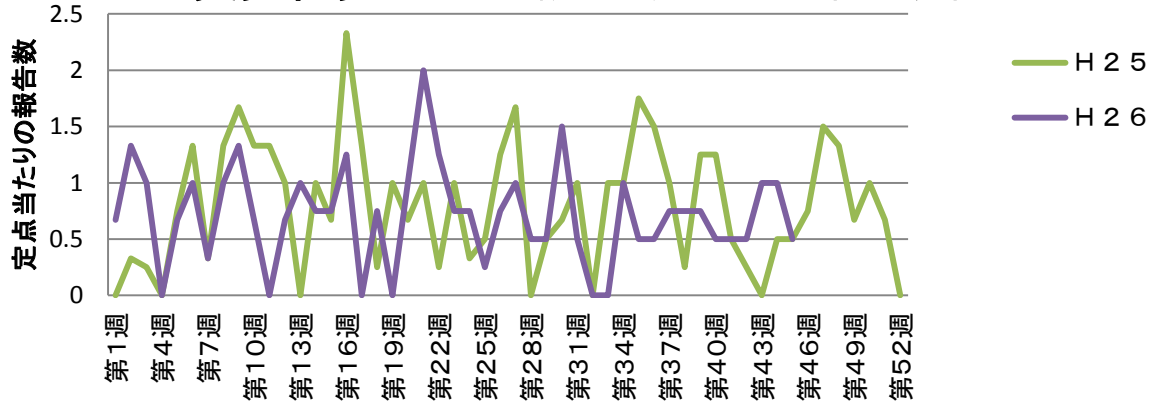
手足口病 乙訓管内定点当たり報告数推移



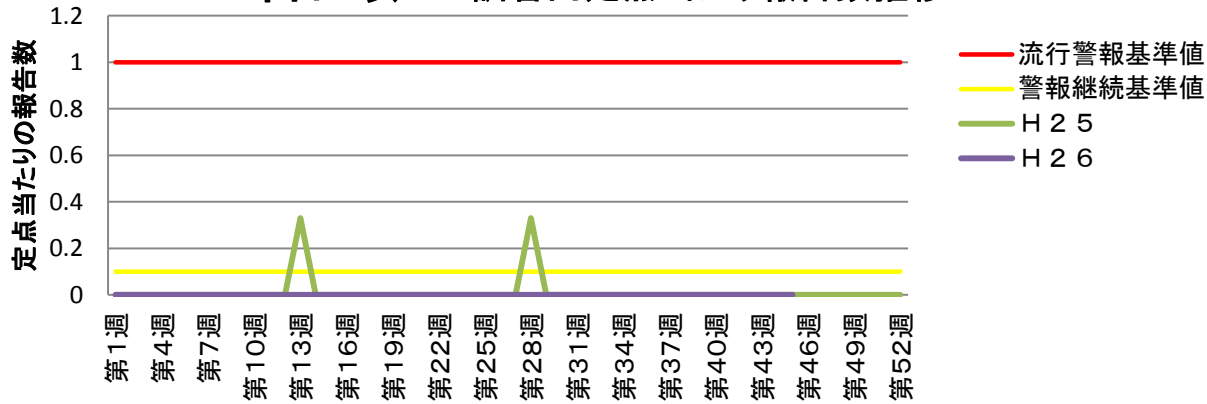
伝染性紅斑 乙訓管内定点当たり報告数推移



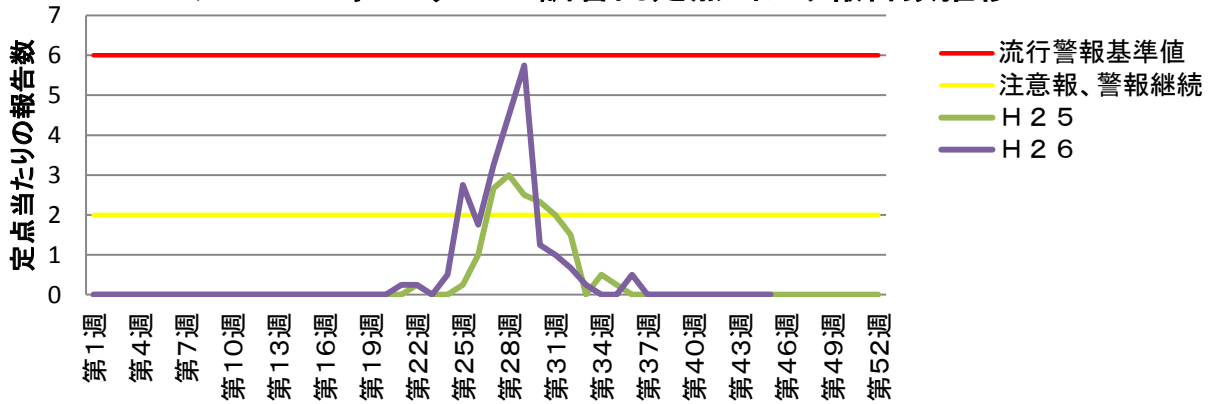
突発性発しん 乙訓管内定点当たり報告数推移



百日咳 乙訓管内定点当たり報告数推移



ヘルパンギーナ 乙訓管内定点当たり報告数推移



流行性耳下腺炎 乙訓管内定点当たり報告数推移

